

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	ララ・ロカレ
住 所	和歌山県田辺市上屋敷2-6-7
電話番号	0739-34-2146

事業所番号	3012250175
管理者名	河原美和子
対象年度	令和6年度

地域連携活動の概要

<活動内容>

私たちは田辺市観光協会に加入し、地域活性化に繋がる活動を模索している。

旧田辺市の街なかには、かつて活気があった街とは思えないほど寂しくなっている。歴史ある店舗や建物も姿を消しつつあり、後継者問題も色濃く残る。

が、ここ数年新しい街なか構想も生まれ、新たな取り組みも増えて来た。その筆頭に (株)南紀みらいさんが存在し、田辺駅前のエンプラスという建物・空間を活用して若い世代が集まり始めた。その賑わいの拡がりとして、以前から開催されていた「弁慶市」が一層注目されている。コロナ禍を経て、開催場所も扇ヶ浜公園カッパークに移し、出店する事業所も一気に増えた。田辺市住民のみならず観光を目的に来られる人も楽しませている。

ララ・ロカレもパンを中心に販売し、地域活性化に一役担うべく活動を開始した。

<目的>

当法人の設立趣旨は、「街づくり」と障害を持たれた方などへの「支援」にある。老朽化し使われなくなった建物をリノベーションしてララ・ロカレというカフェにした。障害当事者が生き生きと働き、地域活性化に繋がることを目的としている。令和5年度は、店内のみならず様々な場所にパン販売に出かけた。そのことで一層地域の人々と交流し、社会の一員として活動・地域貢献することを目的としている。

<成果>

弁慶市にはたくさんの方が「売り手・買い手」として来られ、大きな賑いを見せている。そこにはかつて商いの町として栄えた田辺を垣間見る事が出来、日本人が古くから大切にしてきた「三方よし」の考えが息づいてように思われる。

この拡がりや街なかの活気に繋がっていくよう、私たちも尽力したい。

<活動の様子>



連携先の企業等の意見または評価

「弁慶市」は、昭和61年10月にスタートした朝市で、以来30年以上に渡り毎月第三日曜日に開催しており、令和5年9月には450回目を迎えた。弁慶市の運営は、地域の民間会社と田辺市及び周辺町村の出資による第三セクターまちづくり会社「南紀みらい(株)」が担っている。

弊社としては弁慶市は単なるマーケットイベントではなく、事業所支援に加え地域の賑わいづくり、コミュニティづくりなどのいわゆる交流の場づくりひいては地域活性化につながる事業として位置づけし継続して取り組んでいる。

2020年12月に会場を当初の闘鶏神社から扇ヶ浜公園カッパークに移し、以来、出店者数も増加し比例して来場者数も増加。現状は高齢者から若い子育て世代まで幅広い集客で、多世代によるお買い物のあとは海辺の公園でひと時を過ごす姿もよく見受けられ、交流や賑わいづくりが実現している。

ララ・ロカレさんをはじめとする地域の人気店の出店が、弁慶市全体の魅力を高め多くの集客に繋がっており、たいへんありがたい連携となっている。

弁慶市では各店継続的な出店により固定客もついて、目指す店舗の出店を楽しみに来場される顧客も出てくることから、もともと地域内外から人気のあるララ・ロカレさんにも継続出店が期待されるが、その体制づくりが持続できるかどうか今後の課題となると思われる。

連携先企業名	南紀みらい株式会社口	担当者名	尾崎弘和
--------	------------	------	------